

滑走路誤進入防止WGについて（案）

令和2年3月
航空局安全部
安全企画課

1. 経緯

令和元年に開催された航空安全情報分析委員会（航空運送分野）及び空港安全情報分析委員会（空港分野）において、昨今立て続けに発生している許可されていない滑走路への航空機や車両の誤進入や、車両等が滑走路路上に存在しているにもかかわらず航空機へ着陸許可を誤発出するといった滑走路誤進入に係る事案については航空運送、航空管制、空港の3分野が連携して対応する必要がある旨の発言があり、安全部長（当時）が連携の重要性に言及。同年11月に関係課間で打ち合わせを行い、滑走路誤進入の防止に向け3分野が連携して対応するために、滑走路誤進入防止ワーキンググループ（WG）を設置することとしたい。

2. 目的

航空運送、航空管制、空港の3分野の連携において滑走路誤進入の防止を図る。

3. 計画

- (1) 構成： 安全企画課、空港安全室、管制安全室、事業安全室の実務担当者
- (2) 活動： 会議の開催（定例及び随時）
情報共有等を通じ事案の防止に向けた活動

4. 活動内容

- (1) 各分野における事案の情報共有（令和元年度分より共有を開始）
- (2) 各分野における取り組み、対策の評価及び展開
- (3) 国際航空輸送網の拠点となる大規模空港における滑走路安全チームの設置／運営支援
- (4) 全ての空港における滑走路安全チームの設置／運営支援（長期目標）

5. 事務局

関係課・室の協力を得て安全部安全企画課において処理する。

6. 活動報告

航空安全プログラム実施計画において、活動報告及び次年度以降の活動計画を記載する。